



防衛省東北防衛局広報紙

東北のかなめ

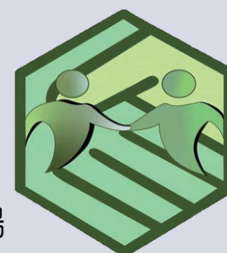
vol.64 (2024.3)



写真提供: 宮城県白石市
白石城

【CONTENTS】

- ✓ 日米交流パラスポーツ運動会 in Misawa 2024
- ✓ トピックス
 - ・第43回防衛セミナー in 滝沢
 - ・日英共同訓練（ヴィジラント・アイルズ23）
 - ・令和5年度東北防衛局長感謝状の贈呈
 - ・若手職員の現地実習
 - ・自衛隊施設の強靱化に関する説明会
 - ・三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会
 - ・緊急災害現地対策本部運営訓練に参加
- ✓ ようこそわが街へ（第34回）～宮城県白石市～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑰：日本エンコン株式会社南相馬工場
- ✓ インフォメーション



日米交流パラスポーツ運動会 in Misawa 2024

令和6年2月10日、青森県三沢市において、日米交流パラスポーツ運動会 in Misawa 2024を開催し、米軍三沢基地と三沢市の小学生の親子約50名が参加しました。

インクルーシブな社会の実現に向けて、誰でも楽しめるパラスポーツを積極的に推進している三沢市での「パラスポーツ運動会」の開催は、今年度で2回目。日米の児童と保護者による混合チームを4チーム結成し、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」と「車いすバスケットボール」のほか、「車いすリレー」の3競技で勝敗を競いました。

「ボッチャ」では、作戦通りに投げる事ができたボールや思わぬ方向に飛んでしまったボールに大きな歓声があがりました。また、「車いすバスケットボール」と「車いすリレー」では、車いすの扱いにも徐々に慣れ、白熱した試合に声援が止まないなど、日米の参加者は交流を深めました。

参加者からは、「最初は緊張したけど、あっという間に打ち解けて、とても楽しい時間が過ごせました。」「パラスポーツは交流にとっても良いと思いました。」などの感想が寄せられました。



第43回防衛セミナー in 滝沢

令和5年11月27日、ビッグルーフ滝沢(岩手県滝沢市)において、第43回防衛セミナーを開催しました。

本セミナーでは、防衛省整備計画局防衛計画課の中野憲幸課長が「新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」、陸上自衛隊岩手駐屯地司令の河内祐介1等陸佐が「最近の米国情勢について」と題して講演を行いました。

約100名の方にご来場いただき、「防衛3文書に係る解説について、とても理解しやすかった。」「防衛力整備計画、米国情勢ともに最新の知見を拝聴でき、非常に有意義だった。」などの感想が寄せられました。



中野防衛計画課長



河内岩手駐屯地司令

日英共同訓練(ヴィジラント・アイルズ23)

陸上自衛隊は、11月15日から26日までの間、相馬原演習場(群馬県)、関山演習場(新潟県)、玉城寺原演習場(宮城県)及び三沢対地射爆撃場(青森県)において、令和5年度英陸軍との実動訓練(ヴィジラント・アイルズ23)を実施しました。

本訓練では、三沢対地射爆撃場において統合火力誘導訓練(航空自衛隊の戦闘機から投下する訓練弾を地上の偵察部隊が観測・誘導する訓練)や、玉城寺原演習場において陸上自衛隊のヘリコプターからの降下訓練などが行われました。東北防衛局は、職員を現地に派遣し、関係自治体などに訓練に関する情報提供などを行いました。



写真提供: 陸上自衛隊第1空挺団

令和5年度東北防衛局長感謝状の贈呈

11月30日、三沢対地射爆撃場や三沢飛行場等の安定的かつ円滑な運用のために、ご尽力を賜った熊野稔三沢市漁業協同組合代表理事組合長、橋本利喜雄六ヶ所村漁業協同組合代表理事組合長、高田孝徳六ヶ所村海水漁業協同組合代表理事組合長、濱田正隆小川原湖漁業協同組合代表理事組合長に、東北防衛局長感謝状を贈呈しました。



(前列左から)熊野三沢市漁協組合長、橋本六ヶ所村漁協組合長、三沢防衛事務所長、高田六ヶ所村海水漁協組合長、濱田小川原湖漁協組合長

また、12月21日、白河布引山演習場の安定的かつ円滑な運用のために、ご尽力を賜った高橋廣志福島県西郷村長、添田勝幸福島県天栄村長に、東北防衛局長感謝状を贈呈しました。



高橋西郷村長(左)、中野局長(右)



添田天栄村長(左)、中野局長(右)

若手職員の現地実習

陸自岩手駐屯地・岩手山中演習場(11月22日)、海自大湊地方総監部・空自大湊分屯基地(12月14日～15日)、空自松島基地(1月30日)において、東北防衛局の若手職員の現地実習を実施し、自衛隊の装備品や訓練などを見学しました。

また、現地に赴く前には、それぞれの担当業務等について、当局の幹部へのプレゼンテーションを行い、若手職員の防衛省・自衛隊の業務に関する知見を広げるとともに、担当業務等への理解を深め、当局と自衛隊などとの関わりについて認識を深めました。



当局の幹部へのプレゼンテーション



実弾射撃訓練の見学(陸自岩手山中演習場)



護衛艦「すずなみ」の見学(海自大湊地区)



ブルーインパルスの見学(空自松島基地)

自衛隊施設の強靱化に関する説明会

仙台市(11月28日)、青森市(12月15日)、秋田市(12月20日)において、防衛省の建設工事に関する説明会を実施しました。

説明会では、東北防衛局から、防衛省の建設工事の入札・契約制度の概要を説明するほか、防衛省整備計画局施設整備官付と施設計画課から、本年から本格化する自衛隊施設の強靱化に向けた取組みとして、東北防衛局管内の最適化事業(注)や最適化事業の入札・契約方式、地元企業の活用などについて、説明を行いました。

【注】最適化事業: 全ての駐屯地・基地等全体の最適化(①強靱化、②安定的運用、③コスト削減、④社会・環境への対応)を図るために実施する事業



仙台市での説明会

三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会

12月7日、三沢市国際交流教育センターにおいて、令和5年度三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会を開催しました。

この協議会は、米空軍三沢基地、空自三沢基地、東北防衛局、三沢飛行場周辺の区市町村・警察・消防などで構成されており、三沢飛行場周辺において米軍機、自衛隊機又は民間機の事故や事故に伴う災害が発生した場合の対処に万全を期すため、相互の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備について、連絡協議することを目的としています。

協議会では、東北防衛局から「日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドライン」、米空軍三沢基地から航空機事故が発生した場合の対応要領を説明し、認識の共有などを図りました。



協議会の様子

緊急災害現地対策本部運営訓練に参加

11月7日～8日、仙台合同庁舎B棟において、内閣府(防災担当)が主催した緊急災害現地対策本部運営訓練に参加しました。

この訓練は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定し、緊急災害現地対策本部の業務遂行能力の向上を図ることなどを目的として実施されました。訓練には、東北防衛局などの関係府省庁の地方支分部局や青森県、岩手県、宮城県、福島県などが参加し、広域医療搬送などの応急対策活動に関して、関係機関間の連携などを訓練しました。



運営訓練の様子



白石市は令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます！



【白石城】

伊達政宗の重臣、片倉家の居城として知られ明治7年に解体されますが、平成7年に天守閣と大手一ノ門・二ノ門を史実に忠実に復元しました。東日本大震災などの災害を幾多も乗り越え、現在も白石市のシンボルとして多くの市民に愛されています。春には周辺の200本以上の桜が咲き誇り、圧巻の美しさを見せてくれます。

【白石市制施行70周年】

白石市は昭和29年に仙南地域最初の市として誕生し、令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます。本年はさまざまな70周年記念事業を計画していますので、ぜひ白石市へお越しください。

70周年記念
ロゴマーク



70th ANNIVERSARY

白石市公式
ホームページ



しろいし
旅カタログ



【白石市民春まつり】

白石に春を告げる「白石市民春まつり」が今年も5月3日(祝)に開催されます。メインイベントである「しろいし大行列」や白石市消防団による伝統階子乗り、片倉鉄砲隊による火縄銃の演武など見どころ満載です。



【全日本こけしコンクール】

本市を代表する一大イベントで、国内外から約800点のこけしが展示販売されるこけしの祭典です。今年も5月3日(祝)から3日間開催。会場では「地場産品まつり」も同時開催しており、毎年多くの観客でにぎわいます。



日本エンコン株式会社(昭和43年、創立)は、耐熱服・防火服、感染防止衣などの防護衣や緊急用シャワー・洗眼器などの危機管理製品を製造しており、自衛隊では、主に防護衣を調達しています。令和元年には、福島県南相馬市において、製造・物流機能を集約した南相馬工場が操業を開始しました。

今回は、日本エンコン株式会社南相馬工場の坂本守政工場長、小野良子被服部門企画部リーダーと横浜営業本部の佐久川渡機能服事業部課長に、お話を伺いました。

Q1: 耐熱服の構造や縫製するときの難しさについて、教えてください。

A1: 耐熱服は、熱を反射するアルミの表地、湿気を逃がす透湿防水加工の中間生地、空気によって断熱するキルトの裏地で構成されます。縫い付け箇所の厚みが7mm程度になることもあり、重さもあります。また、アルミの生地は、一般的な布より堅い上に、誤って針で穴を開けると、劣化の原因となるため、縫い直しができません。このような耐熱服をパーツがずれないように縫うことは、難しい作業ですが、安全を預かる製品ですので、基本をしっかりと守り縫うことが重要だと考えています。

Q2: 様々な環境下で身体を守る防護衣について、正しい使用方法の普及やメンテナンスなど、ソフト面での取組みを教えてください。

A2: ウイルスから身体を守る感染防止衣は、露出なく着衣し、汚染された表面に触れないよう脱衣することが重要です。正しく着脱ができるよう、イラストを使った説明書や動画を作成しています。また、ご要望があれば、実演での説明も行っています。

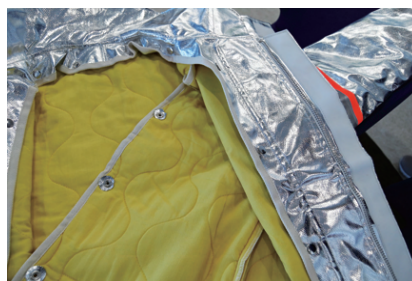
また、引っかけ穴が開くなどした防護衣の修繕も行っています。現在は、海外の先行事例を参考に、洗濯、修繕、点検といった一連のメンテナンスをパッケージで提供できないか、模索しています。このようなメンテナンスを提供することにより、予防的な修繕も可能となり、より安全に製品を利用できると考えています。

Q3: 緊急用シャワー・洗眼器については、あまり馴染みがありませんが、どのような製品なのでしょう。

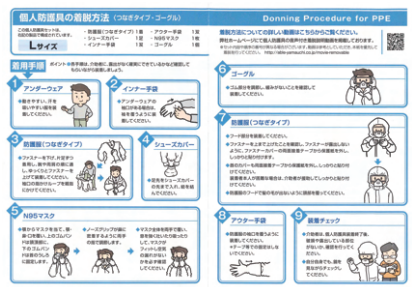
A3: 緊急用シャワー・洗眼器とは、工場などの作業員が有害物質を浴びてしまった際に、医療機関で治療を受ける前の応急処置として、その場で有害物質を洗い流すための装置です。有害物質により傷ついた身体に刺激を与えないよう、大量の柔らかい水流によって有害物質を洗い落とします。私たちの製品は、特殊な物が多いですが、安心・安全を支えるニッチトップ企業を目指して取り組んでいます。



坂本工場長(中央)、小野リーダー(左)、佐久川課長(右)



耐熱服の裏側。アルミの生地などを重ねた本体に、耐熱効果のあるキルトをホックで留めている。



感染防止衣の着脱の手順書。右上のQRコードから動画も確認できる。



大量の柔らかい水流によって有害物質を洗い流す洗眼器

東北防衛局職員採用案内

2025年4月新規採用

東北防衛局では、2024年度国家公務員採用一般職試験の最終合格者から職員（事務官・技官）の採用を行います。職員は、様々な業務を行い、自衛隊・在日米軍・地域住民の方々との架け橋となっています。幅広い視野と積極性を持ち、粘り強く課題に取り組める人材を求めています。

業務説明会や官庁訪問を実施し、具体的な業務内容のほか、やりがいや醍醐味なども職員から直接お伝えします。興味・関心のある方は、是非ご参加ください。

採用情報は
こちらから



事務官（行政・事務職） 【試験区分：行政、事務】

【主な業務内容】

防衛政策への理解と協力を得るための施策（広報、防衛セミナー、日米交流事業等）や防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策（民生安定施設の整備、障害防止工事、住宅防音事業等）等



技官（技術職）

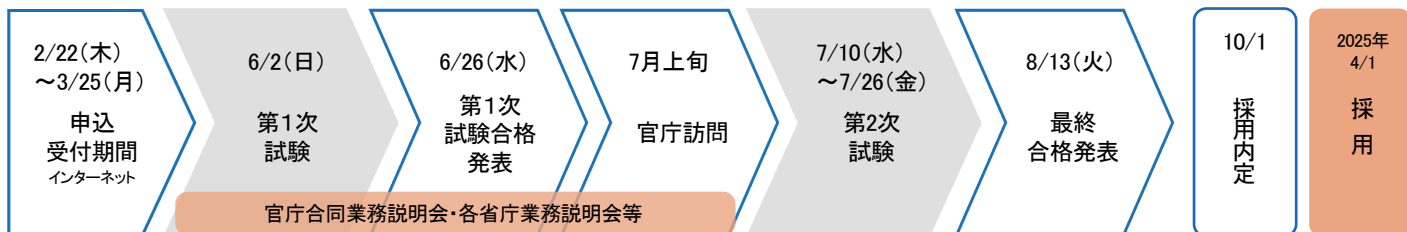
【試験区分：デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、技術】

【主な業務内容】

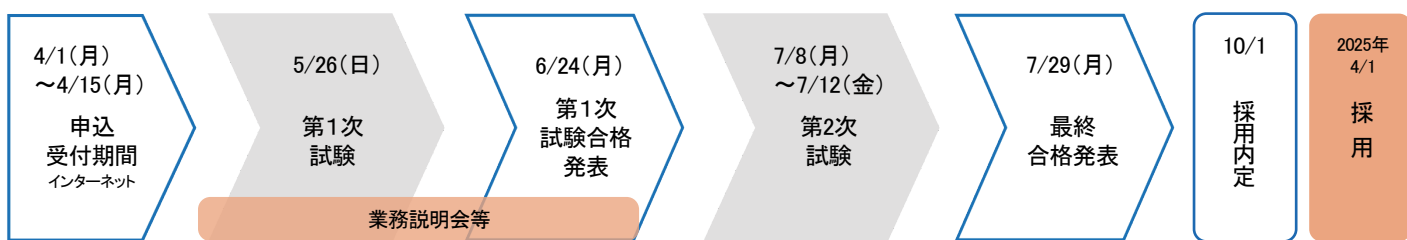
自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設（飛行場、港湾施設、レーダー施設、体育館、隊舎など）の建築・土木・機械・電気通信設備工事の設計・監督等



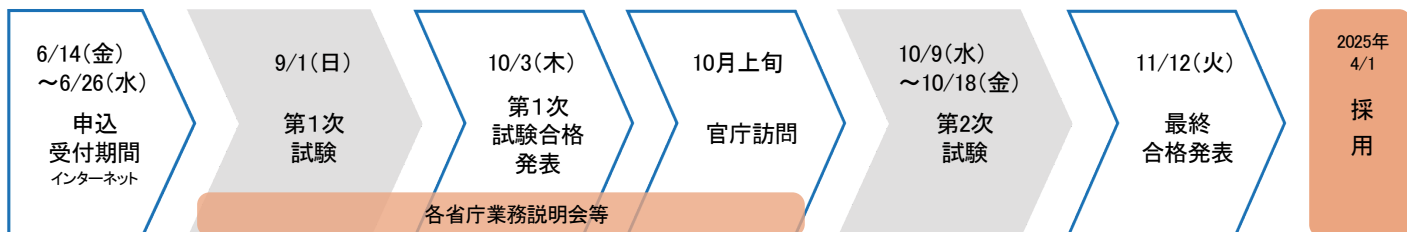
採用までの流れ 2024年度国家公務員一般職試験（大卒程度試験）



採用までの流れ 2024年度防衛省専門職員採用試験



採用までの流れ 2024年度国家公務員一般職試験（高卒程度試験）



【お問い合わせ先】 東北防衛局 総務部 総務課 人事係 TEL: 022-297-8209 内線3126、3127

